

第18回 土木施工管理 技術論文・技術報告 募集

(一社)全国土木施工管理技士会連合会(以下、JCM)(協賛:(一財)日本建設情報総合センター(JACIC))は、技術論文・技術報告を募集します。優秀な技術論文・技術報告に対しては、それぞれ最優秀論文賞、最優秀報告賞を設け表彰します。

応募要領

1. 募集対象者：土木施工管理技士(1級または、2級有資格者)で個人または連名(共同執筆者は2名まで)
2. 対象工事と内容：工事規模の大小・工種の制限はありません。他団体、JCM(CPDS含む)に提出した論文・報告は応募出来ません。
3. 原稿形式：技術論文と技術報告の2分野があります。
 - (1) 内容：工事現場での課題・問題とその解決、現場における簡単な創意工夫、ITやマネジメントによる現場の改善、技術の伝承、技術的な内容などで他の施工管理技士の参考になるもの。
 - (2) 技術論文：必要な図(写真含む)・表と、全体で3,000文字～3,500文字程度で、A4用紙4枚程度。
 - (3) 技術報告：必要な図(写真含む)・表と、全体で1,500文字～2,000文字程度で、A4用紙2枚程度。
- *論文・報告共通：図(写真)表には、個々に簡潔な説明と番号を付け、ページの半分以下とします。
- (4) 様式：雛型をJCMホームページ技術論文サイトに掲載していますので、これをご使用ください。容量は15 MB以内とします。
- (5) 構成項目：論文・報告の構成は、原則以下の①～④にして下さい。①はじめに(適用工種 工事概要を含む) ②現場における課題・問題点 ③対応策・工夫・改善点(特に個人として実行したことと適用結果 ④おわりに(他の現場への適用条件、今後の留意点など)。尚、③については、技術論文ではデータ等を用いて詳細を記述するものとし、技術報告では主要なポイントを簡素に記述して下さい。
- (6) 論文中の商品名の記載について：論文では、商品名の記載は排除しませんが、商品名の宣伝や誹謗の意図が明確な論文は認めません。また、否定的な表現は販売者からの苦情を招く場合があるので事実関係の確認は十分に行ってください。

4. 応募

- (1) 論文・報告応募：インターネット応募、もしくは各都道府県技士会を通しての応募があります。応募頂いた原稿の返却は行いません。
 - 1) インターネット応募はJCMホームページからできます。非技士会員の方は、インターネット応募のみです。
 - 2) 所定の用紙による応募は、各都道府県等土木施工管理技士会事務局のみで受付けます。
- (2) 締め切り：平成26年1月8日(水)着厳守 各都道府県等土木施工管理技士会事務局
平成26年1月10日(金)着厳守 (一社)全国土木施工管理技士会連合会(JCM)
- (3) 応募制限：一人一回応募のみ。論文と報告の重複応募は不可。主執筆者と共同執筆者の重複応募も不可。共同執筆者は2名まで。会社単位では、論文、報告で1社各3件までとします。
- (4) 応募料金：技士会会員は、無料です。非技士会員(主執筆者)は、2,000円を受付メールの口座にお振込みいただき、振込み記録(送金票控え)を受付メールと一緒にJCM宛にFAXしてください。FAX番号 03-3262-7420
- (5) 受理ユニット：内容が一定水準以上で原稿形式が応募要領を満たしているものを受理し、JCMにて平成26年2月末頃、ユニットを付与します。不受理になった論文・報告にユニットは付与されません。ユニット詳細は下表をご参照ください(*印)。
- (6) 著作権：図・表及び本文を引用した場合、JCM提出前に、必ず出典元許可を事前に得て、発注者への確認をお願いいたします。原稿の著作権は連合会に帰属するものとします。

5. 技術発表会：受理された投稿論文を平成26年6月20日に東京都内マツダ八重洲通ビルで行う、JCM主催の「リーンコンストラクション等セミナー(建設現場の生産性と品質向上等の技術発表会)」で発表していただくことができます。発表料金は論文の料金に含まれますが、旅費は発表者で負担願います。ご希望の方は論文申請時にお申し込みください。ただし発表定員等から発表できない場合があります。発表の可否は、平成26年2月中旬にお知らせいたします。

6. 表彰 JCM論文審査委員会で審査し、各賞を選定します。応募総数により表彰数が異なることがあります。各賞の追加ユニット付与は5月末頃です。発表はJCMホームページ、会誌JCM マンスリーレポートに掲載します。最優秀論文賞受賞者等には表彰式で、簡単な発表をお願いすることがあります。*下表ユニット数は主執筆者分、()内は共同執筆者分で、受理ユニットを含みます。

分類	賞の種類	表彰賞金等	ユニット	備考
技術論文	最優秀論文賞	7万円 1～2名	30(6)	ITマネジメントも含め、最も優秀な論文(増岡康治記念会基金より)
	ITマネジメント賞	7万円 1名(JACIC 協賛)	25(5)	IT(情報技術)を利用して施工合理化等に役立てた内容の優秀な技術論文
	優秀論文賞	1万円 応募数の6%程度	25(5)	ITマネジメントも含め、優秀な論文
	特別賞	1万円	20(4)	環境などの特定分野において秀でている論文(該当なしの場合もあります)
	受理技術論文	入賞選外の受理技術論文	15(3)	主執筆者は15ユニット、共同執筆者は3ユニット付与(*)
技術報告	最優秀報告賞	3万円 1～2名	20(4)	最も優秀な報告
	優秀報告賞	1万円 応募数の6%程度	15(3)	現場における工夫例を記述した報告
	特別賞	1万円	15(3)	環境などの特定分野において秀でている報告(該当なしの場合もあります)
	受理技術報告	入賞選外の受理技術報告	10(2)	主執筆者は10ユニット、共同執筆者は2ユニット付与(*)

第 18 回 技術論文・技術報告 応募用紙

応募方法

インターネット応募、もしくは各都道府県技士会を通しての応募があります。
所定の応募用紙によるご応募は各都道府県土木施工管理技士会事務局のみで受付けております。

論文の種類

応募される論文の種類を選択して○で囲んでください。 1. 技術論文 2. 技術報告

分野 A 主要な該当分野を1つ選択して、該当の□へ V を入れてください。

<input type="checkbox"/> 施工計画 <input type="checkbox"/> 工程管理 <input type="checkbox"/> 品質管理 <input type="checkbox"/> 安全管理 <input type="checkbox"/> 環境管理 <input type="checkbox"/> 原価管理 <input type="checkbox"/> 新技術・新工法 <input type="checkbox"/> イメージアップ <input type="checkbox"/> IT・IT マネジメント <input type="checkbox"/> 維持管理 <input type="checkbox"/> 調達制度 <input type="checkbox"/> その他 _____

分野 B 主要な該当分野を1つ選択して、該当の□へ V を入れてください。

<input type="checkbox"/> 先端・高度技術分野 <input type="checkbox"/> 現場の改善等分野
--

標 題

--

注) 標題は、具体的に記入してください。

主執筆者 共同執筆者の区別 (該当する方を選択して○で囲んでください。)

注) 主執筆者と共同執筆者は、別々の用紙に記入してください。

*のついている項目は必須項目ですので、必ずご記入ください。

1	申請日	(西暦) 年 月 日	
2	フリガナ*		
3	ローマ字*		例 Suzuki Ichirou
4	申請者氏名*		
5	所属技士会*	<input type="checkbox"/> () 土木施工管理技士会	
6	役 職	<input type="checkbox"/> 監理技術者 <input type="checkbox"/> 現場代理人 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 掲載を希望しない	該当の□へ V
7	連絡先*	<input type="checkbox"/> 勤務先(社名:) <input type="checkbox"/> 自宅	該当の□へ V
8	連絡先住所等 *	〒	
		E-mail	
		電話	
		ご担当者 氏名	連絡先ご担当者氏名 (応募者が不在時)
8	生年月日*	(西暦) 年 月 日	
9	資 格	土木施工管理技士資格技術検定合格番号 () 級 番号()	未取得者は空欄で可
10	学習履歴登録	<input type="checkbox"/> 希望有 CPDS登録番号() 注) CPDS非加入者は申請を認めません。	該当の□へ V
11	技術発表会	<input type="checkbox"/> 参加希望する / <input type="checkbox"/> 参加希望しない ※□にチェックマークを入れて下さい	平成 26 年 6 月 20 日 東京都内マツダ八重洲ビル

* CPDS 学習単位の登録には CPDS への加入が必要です。新規加入は、連合会のホームページからできます。

* CPDS 学習履歴登録希望者添付書類: